

法人（事業所）理念		子どもたちが自分らしく未来へ歩み、それぞれの可能性を広げていけるように、その力を信じ、ともに歩んでまいります。					
支援方針		安心して過ごせる古民家の落ち着いた環境を土台に、一人ひとりの「やってみたい」を大切に、生活する力・人と関わる力・考える力・将来働くことにつながる力を育みます。AIなどのデジタル技術を活用した活動、家庭菜園や食育、実生活に近い体験を取り入れ、子どもたちが自分の得意や可能性を発見し、将来の自立に向けて一歩ずつ進める支援を行います。					
営業時間		10 時	0 分から	19 時	0 分まで	送迎実施の有無	あり なし
		支 援 内 容					
本人支援	健康・生活	健康状態や生活リズムを確認し、手洗い・身支度・整理整頓・持ち物管理・時間管理など、将来の生活や就労にもつながる基本的な生活習慣を身につけられるよう支援します。家庭菜園や調理、食材に触れる活動を通して、食への関心や健康を自分で考える力も育てます。					
	運動・感覚	屋外活動、ストレッチ、体操、散歩、家庭菜園などを通して、基礎体力や身体の使い方を育てます。また、工作・調理・パソコン操作など、手指を使う活動を取り入れ、手先の巧緻性や感覚の調整、集中して作業する力を養います。本人の得意・苦手や感覚特性に合わせ、無理なく参加できる環境を整えます。					
	認知・行動	一日の流れや予定を視覚的に示し、見通しを持って行動できるよう支援します。AIなどのデジタル技術を活用した課題や、情報を調べる・整理する・比較する・考えて答えを出す活動を通して、論理的思考力、問題解決力、情報活用力を育てます。できたことを振り返り、次の行動につなげる自己調整力も養います。					
	言語コミュニケーション	挨拶、質問、依頼、報告、相談など、日常生活だけでなく将来の就労場面でも必要となるコミュニケーションを、実際の活動の中で練習します。自分の気持ちや考えを相手に分かりやすく伝える力と、相手の話を聞いて理解する力を育てます。発表や作品紹介などの経験を通して、人前で伝えることへの自信にもつなげます。					
	人間関係社会性	少人数での活動や役割分担、SST等を通して、相手との距離感、順番、ルール、協力すること、困ったときに相談することなどを学びます。掃除・片付け・菜園活動・調理などの共同作業を通して、責任を持って役割を果たす経験を積み、集団の中で安心して過ごす力と、将来の社会参加につながる協調性を育てます。					
家族支援		定期的な面談や個別支援計画の共有、日々の連絡帳・送迎時の情報交換等を通して、ご家族と支援目標やお子さまの成長を共有します。家庭での困りごとや進路、生活習慣、将来の就労等について相談しやすい関係づくりを行い、ご家族の不安や負担の軽減につながる支援を行います。				移行支援	進級・進学・卒業や将来の就労など、次の生活環境への移行を見据え、身辺自立、時間管理、コミュニケーション、役割遂行などの力を段階的に育てます。必要に応じて学校、相談支援事業所等と情報共有を行い、切れ目のない支援につなげます。
地域支援・地域連携		学校、相談支援事業所、医療機関、就労・進路に関係する機関等と必要な情報を共有し、お子さまを取り巻く支援者が共通理解を持てるよう連携します。また、地域の施設、人材等にも目を向け、地域とのつながりや社会参加の機会を広げます。				職員の質の向上	児童発達支援・放課後等デイサービスのガイドライン、5領域、虐待防止、身体拘束、安全管理、感染症、BCP等に関する研修を定期的に実施します。加えて、AI・デジタル技術を活用した支援、就労準備支援、SST、食育等について事例検討を行い、職員一人ひとりの専門性と事業所全体の支援の質を高めます。
主な行事等		季節の行事、家庭菜園、収穫・調理体験、食育活動、工作、地域での体験活動などを実施します。行事そのものを楽しむだけでなく、準備・役割分担・実施・片付け・振り返りまでを一つの学びとして捉え、生活力や社会性、達成感、自信につなげます。					